

(別添3)

**【養老町】**  
**校務DX計画**

本町では、国のGIGAスクール構想に基づき、令和2年度に1人1台端末を整備し、授業支援ソフトや学習eポータル、学習ドリルを活用し、新たな時代の変化に対応するため、児童生徒の学習環境のデジタル化を進めてきました。

また、令和5年度には、保護者連絡アプリを導入し、学校と保護者間の連絡（保護者からの出欠連絡、学校からの定期連絡や配付文書など）をデジタル化することで、校務の効率化を進めています。

教職員においても、校務支援システムのグループウェアやシステム機能を活用し、学校での伝達事項や教務、学籍、成績管理等の情報をデジタル化し、教職員間で幅広く業務で利活用しています。また、職員研修をオンラインで実施しています。

このように、各種デジタル化・オンライン化を進めてきましたが、学校現場においては依然として紙ベースの資料が多くみられるのも事実です。そのため、業務の効率化の観点から、各種デジタル化及びペーパーレス化を積極的に進めていく必要があります。

「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえつつ、具体的な取り組みを次のとおり定めます。

## **1. 校務DX基盤の構築**

### **(1) セキュリティの強化とネットワークの最適化**

GIGAスクール構想の実現により、学校におけるICT環境は大きく変化し、校務のICT利用が加速しています。しかし、それに伴い、セキュリティリスクも高まっており、情報セキュリティ対策の強化がより重要となります。特に、教職員の働き方改革が進み、場所を選ばない働き方が求められる中、従来のネットワーク境界に依存したセキュリティモデルでは対応が困難です。

また、学校に複数ある校務で使用するネットワークと、授業で使用するネットワークシステムの統合や、町のイントラネット設備に代わり、クラウドを利用した再構築など、ネットワークやシステムの最適化を計画します。

今後、校務支援システム等も含めたネットワークの統合やクラウド化などにより次のような効果が期待できます。

- ・ 情報漏洩の防止：児童生徒の個人情報や機密情報の漏洩を防ぎ、学校全体の信頼性を向上させます。

- ・不正アクセス防止：外部からの不正アクセスや内部からの不正利用を防ぎ、システムの安定稼働を確保します。
- ・持続可能性の強化：セキュリティの強化やクラウド化は自然災害、火災、サイバー攻撃などの事態が発生した場合においてデータの保全性を高め、損害を最小にとどめることで、授業や業務の継続や早期復旧を行うために重要です。

## （２）校務支援システムのクラウド化

現在、成績管理・保健・学籍情報などを有している校務支援システムはオンプレミス型であり、そのシステムは岐阜県内の他の自治体との共同運用がなされています。今後、教育の情報化を進め、教育の質の向上と教職員の働き方改革や災害時の継続性を高めるためにクラウド化の必要性が高まっています。

校務支援システムの更新時期（令和８年度）を目指し、クラウド化やセキュリティ強化等の検討を他の自治体とともに進めます。同時に学習系システムや行政系システムなどとのデータ標準化やデータ連携など模索していきます。

## （３）教育ダッシュボードの創出

教育ダッシュボードとは、学校が保有する様々な教育データを一元化し、視覚的に分かりやすく表示することで、教育活動の現状を把握し、分析するためのツールです。教育ダッシュボードによりデータ分析を通じてより効果的な教育プログラムの策定や、個別指導の最適化を行うことができ、教育の質の向上や業務の効率化が期待できます。教育ダッシュボードは校務支援システム等主要なシステムとの関わりが大きく、また学校全体の教育改革につながる重要な取り組みです。そのため、国や県、他のシステム等の動向を踏まえつつ、調査研究を行っていきます。

## ２．FAX及び押印の見直し

町から学校に提出を求める文書、学校から保護者に提出を求める文書、県教委から学校に提出を求める文書等のうち、特に必要のあるものを除き、押印を廃止しています。

また、緊急連絡や教育ネットワークの不具合時、個人情報が含まれない簡易な報告の場合など一部を除き、FAXを使用することは避けています。また、各種行政機関及び学校とやりとりのある事業者に対して、町教育委員会から慣行の見直しを依頼するなど、継続的に働きかけを行います。あわせて、各学校に対して、外部への児童生徒の個人情報などの情報を送信する際の注意事項について周知啓発します。

## ３．ペーパーレスの推進

本町では、各学校に配付する文書等をデジタル化し、校務サーバ等に保存することで、ペーパーレスでの情報の共有を行っています。また、各学校においても

資料をデジタル化して閲覧できるようにするなど、会議資料のデジタル化が進んでいます。

学校から保護者への連絡ツールとして「スマート連絡帳」を導入し、定期連絡・緊急連絡等に活用しています。「スマート連絡帳」は文書添付も可能であるため、学校からの文書を添付して各家庭に配付することもあります。

今後は、学校間をまたぐ会議等においても、会議資料のペーパーレス化を進めていく予定です。

#### **4. 校務におけるRPA・生成AI等の活用**

校務での生成AI活用に向けて、文部科学省のガイドラインを周知するとともに、リーディングDXスクールの生成AIパイロット校の取組を参考とし、生成AIを活用した校務の効率化を推進します。

#### **5. その他**

小学校は「NEW!GIFUウェブラーニング」、小中学校ともに「eライブラリアドバンス」のデジタルドリルの活用を進めています。